

芭蕉元祿事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十五年七月度 入選句 (投稿総数二千九十句・一般投句数五百二十七句)

特選

前向きに生きる余生の衣替え 北海道小樽市 大橋 美彌

中高年になると幾つになつたからどうか、過去の話を何度もする人が多い、幾つになろうと、今からこれからと前向きな考へを持つてみえる方は、明るく愉しい性格なので友も多く、人との交際もうまいし健康な方が多い、笑顔を絶やさず、感謝の心を持ち、服装も少々派手目なものを着られ、俳句と共に余生を充分楽しんで頂きたいと思います。上五の描写がいい。

ただいまの声より先に飲む麦茶 大垣市 永井 田鶴子

暑い今年の夏は特別暑い。小学生か中学生かもつと上の方も知れないが、家へ帰つたら先づ冷蔵庫で冷して有る麦茶を飲もうと心に決めて帰つて来て、ただいまも云はず麦茶を飲む、子供の頃を思い出させる懐しい情景の楽しい句です。

梅雨晴間園児の登校嬉々として 大垣市 小林 啓二

今年は梅雨入り宣言が早過ぎ、空梅雨が続いたが、梅雨に入り、園児達も傘を差しての登校、園でも外で遊べず何んとか晴れになつてほしいと子供心で願つてゐたが、今日は梅雨晴間、子供たちの晴れに対する嬉びを嬉々としてと上手に表現された佳句である。

秀逸

相寄りてこの昔たのしき星まつり	大垣市	中山 あや子
写経終へ山寺寂と苔清水	大垣市	臼井 秀子
風鈴の千の音色や陶の駅	大垣市	野村多佳子
髪切りてうなじはずかし夏陽かな	大垣市	竹野 美咲子
麦の秋齡が自慢のバス旅行	大垣市	鈴木 美江子
浴衣着るモデル歩きでポーズ決め	大垣市	谷 彩虹
藻も鯉も隠して走る梅雨の川	大垣市	小林 こま
打ち水が好きで生涯路地暮し	福井県福井市	三ツ山 ひろし
灯ともして田植終りし村静か	安八郡神戸町	高橋 日出美
石楠花や足湯に駄弁る姫どち	愛知県岡崎市	足立 山溪

入選

仁王とも菩薩ともなる雲の峰	不破郡垂井町	白井 梅乃
滴りてつくばひ満す小さき杓	大垣市	白井 秀子
雲割れて白き雲見ゆ梅雨晴間	揖斐郡池田町	五十川 直靖
空梅雨や口開け待つよ庭の花	大垣市	川瀬 芙沙子
子ら放す合鴨嬉嬉と植田中	大垣市	喜田 守
伊吹嶺の裳裾ひろがる青田かな	岐阜市	富永 万里
俳聖の心に触れし水都の夏	大垣市	梅村 哲也
待ちわびて梅雨雲に隠れし富士の峰	大垣市	竹野 美咲子
城門にたちおもうぞんぶん若葉風	名古屋市昭和区	前田 ふみ
赴任地の訛りを連れし帰省の子	大垣市	大西 誠一

入選

夕焼けが空一面で明日を待つ	大垣市	菅谷 きみ
天守閣夕立ち雲と対峙する	大垣市	奥田 和子
天守閣見上げて食べる水まんじゅう	大垣市	奥田 和子
園児らの稚魚の放流夏の川	大垣市	春日井 勝代
鮎を焼くごめんなさいと串通し	大垣市	早崎 美弥子
墓洗ふ看取りし頃のしぐさして	福井県福井市	三ツ山 シゲ子
山峡は音色響かせ河鹿鳴く	大垣市	草野 恵子
深呼吸水無月の雲呼び寄せり	福岡県田川郡	成松 義紀
鈴生りの人を待つらむユツカの花	瑞穂市	井上 源人
菰解けば明日へと伸びる牡丹の目	北海道小樽市	大橋 美彌

選者吟

青き葉を一枚添へて夏料理

庄 一 郎